

2018年生物研究発表会報告

日時：2018年11月23日(金・祝) 10:00～16:00

場所：神戸大学鶴甲第一キャンパスB棟210教室・ラーニングcommons

主催：兵庫県生物学会と神戸大学サイエンスショップの共催

参加者数：198名(神戸大学サイエンスショップ調べ)
(内訳)

生物学会会員 10名(高校教員は除く)

高校教員 28名

高校生 142名

大学関係者 16名(うち学生11名)

その他 2名

プログラム：

1. 兵庫県生物学会 会長挨拶

会長 内藤 親彦

2. 兵庫県生物学会会員発表

口頭発表

(1) 米国ワシントンDCにおいて開催された、国際甲殻類学会ICC9：2018年5月22日(火)～25日(金)の参加・発表報告と、その後のカワリヌマエビ属*Neocaridina*の研究の進展状況
丹羽信彰(京都大学理学部)

(2) 魚類分類学研究の細流として～魚を博物する研究は楽しいのか?～
矢頭卓児(兵庫県立神戸高等学校 非常勤講師)

3. 高校生口頭発表部門

●兵庫県生物学会関係分

(1) クロゴキブリはなぜ滑空できるのか、チャバネゴキブリはなぜ滑空できないのか
(兵庫県立西脇高等学校)

(2) 水生生物を指標とした加古川での水質調査
(白陵高等学校)

(3) 水路に落ちたカエルを救え!!
(兵庫県立篠山東雲高等学校)

(4) ナガレホトケドジョウ～開発地テクノの谷川で発見～
(兵庫県立大学付属高等学校)

(5) アカムツの資源量維持のために
(京都府立海洋高等学校)

(6) エダアシクラゲにおける「若返り」・“触手”“傘部”の「再生」観察
(兵庫県立加古川東高等学校)

(7) 須磨産ウミホタルの生活史の解明
(兵庫県立尼崎小田高等学校)

●神戸大学サイエンスショップ関係分

(1) 冷却過程における炭酸水と水の気泡の温度

(兵庫県立西脇高等学校)

(2) 節理面に発達する火山岩の流理構造の形成過程—流紋岩、安山岩、玄武岩を用いて—

(兵庫県立西脇高等学校)

(3) 放置のため池における低水位管理の有効性
(兵庫県立加古川東高等学校)

(4) 振動装置による水流を用いた水面の物体輸送
(兵庫県立加古川東高等学校)

(5) 『宇宙ピペット』実用化のための有用性検証
(兵庫県立加古川東高等学校)

(6) ナビゲーションメッシュを用いたマルチエージェントによる避難シミュレーション
(神戸市立科学技術高等学校)

(7) 絡まりにくいイヤホン～最適な保存方法とは～
(兵庫県立長田高等学校)

4. 高校生ポスター発表部門

●兵庫県生物学会関係分

(1) ウナギのモノの見え方と認識
(兵庫県立加古川東高等学校)

(2) 円網の巣を作るクモの縦糸には本当に粘球がないのか
(兵庫県立西脇高等学校)

(3) クロゴキブリはなぜ滑空できるのか、チャバネゴキブリはなぜ滑空できないのか
(兵庫県立西脇高等学校)

(4) 形態および分子生物学的手法を用いた兵庫県下を流れる河川に生息するカワシノボリの移入個体の搜索
(白陵高等学校)

(5) 水路に落ちたカエルを救え!!
(兵庫県立篠山東雲高等学校)

(6) 野菜の除菌
(神戸市立六甲アイランド高等学校)

(7) 雄カブトムシの交尾回数と生存日数の関係
(兵庫県立西宮甲山高等学校)

(8) ナガレホトケドジョウ～開発地テクノの谷川で発見～
(兵庫県立大学付属高等学校)

(9) ユスリカの復活
(兵庫県立神戸高等学校)

(10) アカムツの資源量維持のために
(京都府立海洋高等学校)

(11) メダカの海水への適応性
(姫路市立飾磨高等学校)

(12) 城崎温泉の源泉に棲む好熱菌を探す
(兵庫県立豊岡高等学校)

(13) 高砂海浜公園におけるグリーンタイドの原因の解明
(兵庫県立加古川東高等学校)

- (14) 「体細胞分裂の観察は午前10時」の検証
(兵庫県立篠山鳳鳴高等学校)
- (15) ポートアイランドのプランクトン2018
(神戸学院大学附属高等学校)
- (16) 粘菌の立体迷路解読の可能性
(兵庫県立長田高等学校)
- (17) 昆陽池・武庫川産ユリカモメの研究—遺伝子解析の結果—
(兵庫県立尼崎小田高等学校)
- (18) 武庫川の鳥類観察
(兵庫県立尼崎小田高等学校)
- (19) 瀬戸内海における海浜動物相調査
(岡山県立玉島高等学校)
- (20) 身体測定・歩行調査から考えるクマムシの脚の存在意義
(埼玉県立上尾高等学校)
- (21) 外来プラナリアと国産プラナリアで食性に違いはあるのか
(兵庫県立宝塚北高等学校)
- (22) 神戸層群の化石調査
(兵庫県立東灘高等学校)

5. 生物学会表彰

会長賞

- ・ 口頭発表部門
エダアシクラゲにおける「若返り」・“触手” “傘部” の「再生」観察
(兵庫県立加古川東高等学校)
- ・ ポスター発表部門
身体測定・歩行調査から考えるクマムシの脚の存在意義
(埼玉県立上尾高等学校)

上記2件以外の発表(神戸大学サイエンスショップ関係分は除く)には、奨励賞が授与されました。

なお、兵庫県生物学会関係の発表を行った県内の高校生には、昨年度同様、本学会の安原昭江・杉田隆三記念生物研究助成金より交通費の支援を行いました。開催にあたって学会員の皆様のご支援、ご協力を頂き、ありがとうございました。会場が例年と異なりましたが、盛会でした。

(文責 稲葉浩介)

2017年度(平成29年度)会務報告

2017年

- ・ 『兵庫生物』 vol.15,no.3 6月4日発送
- ・ 『兵庫生物ニュース』
No.109 (4月15日発送 第1回理事役員会報告, 会長

選挙投票結果)

- No.110 (6月4日発送 第71回大会報告, 学生会員新設, 連載蛹の不思議⑦)
- No.111 (9月30日発送 第2回理事役員会報告)
- No.112 (2018年1月20日発送 第21回研究発表会報告 ハチたちの性革命①)
- ・ 第1回理事・役員会
4月1日(土) 14:00~ 兵庫勤労市民センター
新会長: 内藤親彦 議長: 北村健(東播支部)
出席者数20名(うち理事7名)
 - ・ 事務局会議
第1回 5月7日, 第2回 6月4日,
第3回 7月13日, 第4回 8月21日,
第5回 9月30日, 第6回 10月20日,
第7回 12月4日, 第8回 2018年1月20日,
第9回 2月20日, 第10回 3月24日
 - ・ 第71回大会(神戸支部のお世話に)
5月14日(日) 10:00~15:10
神戸学院大学附属高等学校プラムホール
(神戸市中央区港島町4-6-3)
参加人数: 27名(会員) + 33名(一般)
会則の一部改正 学生会員(会費1500円)を追加する
会員発表3題(谷良夫, 鈴木武, 内藤親彦の3氏)
記念講演: 「磯の生物フジツボの魅力—フジツボに魅了された世界の偉人たち—」
倉谷うらら氏(海洋生物研究者)
15:20~16:20 自然観察会: 「ポートアイランドの外来植物」水田光雄氏(会員)
チラシ1000枚配布
 - ・ 70周年記念誌『ひょうごの自然フィールドガイド 身近な生き物たち』
武田先生のお世話で2017年11月25日発行
1600円+税 会員価格1200円 1200冊受け取り
約153万円(会員191冊, 執筆協力者22冊, 著者10冊, 写真提供者30冊, 寄贈30冊, 国公立小学校755校のほとんどは市町教委を通して, また私立小学校11校へ個別に配布 寄贈約850冊) + のじぎく文庫700冊 発行所: 神戸新聞総合出版センター 編集: のじぎく文庫 在庫数22冊
 - ・ メーリングリスト開設 8月10日ハガキで案内
会員数191名のうち109名
会員用 hyogobio@hyogobio.sakura.ne.jp
理事役員用 hyogobio-riji@hyogobio.sakura.ne.jp
本部役員用 hyogobio-honbu@hyogobio.sakura.ne.jp
 - ・ 第2回理事・役員会
8月26日(土) 14:00~17:00 姫路市市民会館
議長: 久後地平(西播支部) 出席者数: 16名(うち理事4名)
 - ・ 第21回研究発表会